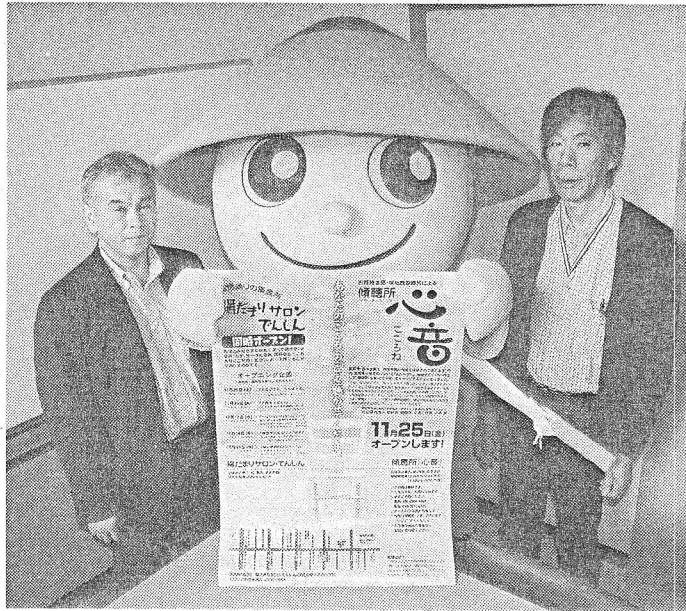


2011年(平成23年)11月25日(金曜日)

昔の商店目指す／気軽におしゃべりを



傾聴所の積極利用を呼びかける片平代表、商店街のマスケット「でんぞうちゃん」、聞き役の齊藤さん(左から)

電信通りに2施設開店

帯広市内の電信通り商店街にある空き店舗(東4南6)に25日、傾聴所「心音(こころね)」と地域住民のコミュニティスペース「陽(ひ)だまりサロンでんしん」がオープンした。商店街のマスケットキャラクター「でんぞうちゃん」が商店街でチラシを配り、オープンをPRした。近隣住民が商店街にできた新しい施設を見に来る姿も見られた。心音は住民が話したいことや聞いてもらいたいことを気軽に話す場。社会福祉法人慧誠会が運営する帯広ケアセンターの職員が共感を持って話を聞く「傾聴」を心掛ける。

傾聴所とコミュニティスペース

心音の片平修代表(同センター所長)は「店先で買い物客が店主と話をしていた昔の商店のような場所を目指したい」と抱負を語った。

聞き役の齊藤修司さんは「気軽におしゃべりしてもらえそうな雰囲気づくりを心掛けた」と話していた。

陽だまりサロンでんしんでは午後1時から、おんがく塾あれぐれっとのかわせひろみさんが「ミニミニこんさく」とを開いた。観客もハンドベルを鳴らして演奏に参加し、楽しいひとときを過ごした。

心音の利用は電話予約が必要。

問い合わせは(0800・6066・6668)、または(0900・2691・6322)へ。(深津慶太)